

**神奈川県立新羽高等学校**  
**平成 28 年度 不祥事ゼロプログラム作成**

新羽高等学校は、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

**1 実施責任者**

実施責任者は校長とし、副校長・教頭及び事務長がこれを補佐する。また、総括教諭は、校長及び副校長・教頭を補佐し、事務長を補助する。実際の行動については、事故防止会議を事務局とし、全教職員でこれを行う。

**2 課題と目標**

	課題	目標	検証		
			1	2	3
1	公務外非行の防止	公務外非行の防止（法令遵守意識の向上）			
2	セクハラ・わいせつ行為	セクハラ・わいせつ行為（スクールセクハラ含む）の未然防止			
3	体罰、不適切な指導	体罰、不適切な指導の未然防止			
4	適正な経理処理	適切な予算編成及び執行並びに現金管理、備品の現物照合			
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な管理による流出事故の防止及び誤廃棄の防止			
6	交通事故防止、交通法規の遵守	交通事故、酒酔い運転、酒気帯び運転の未然防止、交通法規の遵守			
7	業務執行体制	業務執行に係る適切な執行体制（情報の共有、相互チェック体制、業務協力体制）の確認・徹底			

**3 行動計画**

**（1）「事故防止会議」体制**

- ア 本会議は企画会議のメンバーに拠った体制とする。
- イ 本会議の事務局は管理運営グループとする。
- ウ 本会議は月 1 回のペースで開催するが、学校業務の状況によって柔軟に対処する。
- エ 本会議は全職員対象の不祥事防止研修会として実施する。
- オ 上記エ以外に、事故防止会議は必要に応じて行い、不祥事防止研修会は適宜実施する。

## (2) 各課題における取組

- ア 「教育委員会・不祥事ゼロ運動」に係る職員啓発資料等を活用して、全職員対象の不祥事防止研修会を中心に取り組む。
- イ 新聞掲載事例については、写しを掲示し、朝の打ち合わせ時に報告及び確認する。
- ウ 引き続き、朝の打合せ時に「事故防止・不祥事ゼロ日直」による呼び掛けを実施する。

## (3) 内容

### ①公務外非行の防止

- 12月を注意徹底月間と位置づけ、折に触れて注意を喚起する。
- 神奈川県職員行動指針「私たちの規律」を点検項目とした、全職員による自己点検を行う。

### ②セクハラ・わいせつ行為

- 教科準備室等の適切な利用を徹底する。準備室の窓をふさがない等外から見えるような準備室内の配置を行う。

### ③体罰・不適切な指導

- 部活動活性化担当者により人権に配慮した指導について提起する。
- 生徒指導には複数で対応するなど、適切な指導を行うよう注意を喚起する。

### ④適正な経理処理

- 今年度の私費に係る財務事務調査の指摘事項についての所属研修会を実施し、改善を図る。
- 私費会計担当者を対象にした私費取扱事務説明会を行い、適切な処理の仕方についての周知徹底を図る。
- 部費についても、通帳により管理する。

### ⑤個人情報等の管理・情報セキュリティ対策

- 成績処理担当グループによる所属研修会を実施するとともに適宜、注意喚起を行う。
- 調査書担当グループによる所属研修会を実施するとともに適宜、注意喚起を行う。

### ⑥交通事故防止、交通法規の遵守

- 12月を注意徹底月間と位置づけ、折に触れて注意を喚起する。

### ⑦業務執行体制

- 他課題を取り扱う際に、必ず、この視点を踏まえる。
- 執行体制点検のためのグループ会議・学年会議・教科会議等を実施する。
- P T A運営委員会・学校評議員会に不祥事ゼロプログラムを提示し、意見を聴取する。

## 4 検証

設定した目標に沿って、プログラムを実行し次に示す時期に検証を行う。  
検証の結果、達成度が低い場合は対応策を検討し、達成度が上がるように行動計画を設定し直す。

- (1) 第1回検証… 8月
- (2) 第2回検証… 1月
- (3) 第3回検証… 3月

## **5 実施結果**

4 検証 (3) 第3回検証を踏まえ、「実施結果」を取りまとめ、教育局総務部行政課に報告する。

## **6 次年度プログラムの作成**

4 検証 (3) 第3回検証を踏まえ、次年度「不祥事ゼロプログラム」を作成する。

## **7 事務局**

プログラムの策定及び実行の具体的手続きについては、事故防止会議を事務局とし、全教職員でこれを行う。